

2013年6月15日 大矢内さんと語る島の未来 アンケート結果

(参加16名中、14名回答)

	合計	比率	回答数
①年代・性別についてお尋ねします			14人中
(1) 年代			14
20代以下	0	0%	
30代	4	29%	
40代	2	14%	
50代	5	36%	
60代	3	21%	
70代以上	0	0%	
(2) 性別			14
男性	10	71%	
女性	4	29%	
②しまのがっこうをどのようにお知りになりましたか(複数回答可)			17
チラシを見て	0	0%	
知人に聞いて	2	12%	
メール・メールリングリスト	8	47%	
しまのがっこうホームページ	3	18%	
他のホームページ	0	0%	
Facebook	3	18%	
Twitter	0	0%	
スタッフだから	1	6%	
その他	0	0%	
③しまのがっこうへの参加の目的は(複数回答可)			26
島について知りたい	6	23%	
宮本常一を知りたい	6	23%	
離島振興の歴史を知りたい	4	15%	
島の政策を知りたい	6	23%	
島へ旅行を検討	0	0%	
島のビジネスを検討	1	4%	
その他	3	12%	
④大矢内生氣さんの講演で、感じたこと、思ったこと、もっと聞きたかったこと			11
自立・律に対する思いの強さを知った。「陸なら国境に一番目が行くもの」という話になるほどと思う。			
宮本常一という人の先見性を改めて感じた。島の人を持つ精神性をもっと知りたいと思った。			
国民目線の政策論を論じたかったのだろうけれど、ターゲットがようやくしぼられたのは講演の最後であったのが残念です(ちょっとだけですが…)			
私には少しお話がむずかしかったですが、もっとじっくり聞きたいと思いました。宮本常一さんのお話もご本人しか知らない、会った人しかわからないことを聞きたかったです。			
島といっても、距離、共同体のあり方(閉じ方)、歴史、中二階を作るような法制化—大島独立憲章、八丈島、女護島の草履を置く陰膳の想い、自分のまつ毛は見えないという歌、そこに生きる人々の制約と暮らしを想いました。			
フィールドワーク等による調査で、島民、地元の間が迷惑していると言う事は無いのか問うてみたかった。			
大矢内さんのパワーは衰えを知らず、嬉しくなりました。			
次回はもっとくだけた話をして頂けたら嬉しいです！先生はどの島に関しても知識が豊富で感動しました！			
“政策の背景にあるもの”について議論できれば素晴らしい。			
島に対する知識を分かり易く語っていただき、大変良かった。			

駆け足だったが、宮本常一氏の業績や離島振興で大切にしていたものを教えていただいた。明治の隠岐騒動や戦後に占領統治された島々のことは一般に知られていない、海・島・海・島の連続が国家、国土の根幹を成す島の数すらハッキリしてない、離島振興法改正は多くの努力の結実だが外部の力を島に活かすにはトップの寛容性が必要など、島へ関心が向かってほしいという大矢内氏の思いをたくさん聞けたと思う。

⑤大矢内生氣さんとの対話で、感じたこと、思ったこと、言い足りなかったこと 8

大矢内氏の問いかけがうまくつながっていなかったような…(笑)

島の発展をどうするか、島民、よそ者、若者、いろいろな人を交えて意見交換したいです。その時間(意見交換)はもっともっとほしいと思いました。

共同体の捉え方がいろいろ個別にあって、訪ね歩かれたフィールドワークに感服します。貴重なお話をありがとうございました。

時間はあっという間に過ぎてしまった。

島が自立するにはもっと連携、連帯することだと思います。

時間が足りなく、沢山の方の意見が聞けず、残念でした。討論会は内容が難しかったです…現実には厳しいですね。

もっと時間があっても良かったと思う。

宮本常一の足あとをたどりたいたいと言った島出身者など、島にご縁のある方が何人もおられ、真剣に島を考えている島の外と内の人々の交流を積極的に増やす政策の必要性を感じた。大矢内さんが最後に歌われた八丈しよめ節が印象的だった。

⑥本日のしまのがっこうの全体の評価を教えてください 13

5	6	46%
4	5	38%
3	2	15%
2	0	0%
1	0	0%

⑦今回の感想、今後やってほしいテーマ、呼んでほしい人など 8

ありがとうございました。

時計草(パッションフルーツ)茶、美味しかったです。いろいろな背景の方が島に関わるのだなあと感銘を受けました。出会いに感謝！

お話をされる方のやり方にもよると思うのですが、プロジェクターやホワイトボードをもっと使われるのかと思ってました。でも、しゃべりだけでも充分おもしろかったです。

島を元気にする具体的なアイデアをみんなでどんどん出し合う会、夢をかたるイメージで。

益々島へ行きたくくなりました！(観光ですが…)パッション茶おいしい～♪

離島振興の成功事例

関係省庁の担当者を困んだ会合

噂の“大矢内節”を実際に聞いて、やはり島は人との関わりを通じて近くにも遠くにもなるとの思いを強くした。島の政策を話し合うという少々とっつきにくいテーマだったが、熱心な人々に集まっただき感謝します。これからも「五感で島を味わえるしまのがっこう」をモットーにさまざまなバリエーションを試していきたい、島の語り部にはぜひまたご登壇願いたいと思います。

⑧しまのがっこうメーリングリストについて 11

登録したい	3	27%
登録済み	8	73%
登録したいと思わない	0	0%

⑨しまのがっこうFacebookグループについて 11

参加したい	3	27%
参加済み	7	64%
Facebookはやらない	1	9%